

平成22年度 行財政再生シート

NO. 8-2

項目名	観光施設	事業名	登窯広場管理運営事業
担当部	環境経済部	担当課等	商工観光課

この事業に係る費用を市民一人あたりに換算すると **94** 円 です。

※事業費（平成22年度予算額）を人口5万5千人で除した額

1. 事業の目的・概要等

(1) 事業の目的	やきもの散歩道の観光振興および地域の活性化			
(2) 事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 平成7年3月竣工。敷地1,435㎡、展示工房館：木造2階建て、延べ249㎡ やきもの散歩道の中間地点として、トイレ、東屋、水琴窟、陶壁、陶芸教室、角窯等を整備 平成21年4月から5か年、常滑市観光協会常滑支部が指定管理者 			
(3) 実施・運営方法		1. 市が直接実施・運営		
	○	2. 外部へ委託または指定管理	委託先等	常滑市観光協会常滑支部
		3. 団体等への補助金により実施	実施主体	
		4. その他（ ）		
(4) 実施期間など	開始年度	平成6年度	終了予定年度	なし
(5) 根拠法令など	常滑市登窯広場の設置及び管理に関する条例			
(6) 近隣市町・類似団体等の状況	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者：知多市「梅の館」 直営：美浜町「食と健康の館」 民間団体：大府市「げんきの里（JA）」、南知多町「豊浜魚ひろば（組合）」、武豊町「ぎやらりい夢乃蔵（民間）」 			

2. 事業費の推移

(千円)

		H19決算額	H20決算額	H21決算額	H22予算額	
支出	事業費	4,533	4,533	4,500	4,500	
	正規	人数(人)	0.1	0.1	0.1	0.1
		人件費	800	780	690	690
	再任	人数(人)				
		人件費	0	0	0	0
	臨時	人数(人)				
人件費		0	0	0	0	
支出計		5,333	5,313	5,190	5,190	
財源	国・県支出金					
	地方債					
	その他()					
	一般財源	5,333	5,313	5,190	5,190	
市民1人あたり(円)★		97	97	94	94	
投資事業費	全体事業費		~H22未見込	H23以降	進捗率	
	うち一般財源		うち一般財源	うち一般財源	(H22未見込)	

※人件費の算出単価 ・正規職員：H19/8,000千円、H20/7,800千円、H21/6,900千円、H22/6,900千円
 ・再任用職員：H19/2,900千円、H20/2,800千円、H21/2,600千円、H22/2,400千円
 ・臨時職員：H19~H22/1,000千円

★支出計を人口55,000人で除した額

3. 事業実績・計画と成果等

	H19実績	H20実績	H21実績	H22計画
事業実績	(指定管理者:常滑市観光協会) ・展示品紹介、観光案内、物産品販売、陶芸教室 ・入館者数38,529人 ・協賛事業 常滑焼まつり ・陶芸教室13件131人(貸教室含む) ・新春入館者サービス 1月5日(土)、6日(日)、陶芸作品購入者に粗品をプレゼント	(指定管理者:常滑市観光協会) ・展示品紹介、観光案内、物産品販売、陶芸教室 ・入館者数41,790人 ・協賛事業 常滑焼まつり ・陶芸教室15件87人(貸教室含む) ・新春入館者サービス 1月6日(土)、物販品購入者に粗品をプレゼント	(指定管理者:常滑支部) ・入館者数41,738人 ・自主イベント:常滑焼まつり協賛「工房館夏祭り」8月22,23日 ・施設利用:陶芸教室227人、貸教室83人、貸部屋484人、貸広場305人、自主教室15人 ・展示販売3団体 ・協賛事業 あっちべたこっちべたフェスタスタンプラリー(9月1日～11月1日)、とことこバススタンプラリー(12月19日～2月7日)	(指定管理者:常滑支部) ・自主事業の開催 広場、2階工房を活用した自主事業を開催 ・施設利用 陶芸教室の開催、2階の貸部屋、広場の利用(イベント等) ・展示販売の実施 ・各種関係団体の事業に協賛・協力
成果・効果	・平成21年度から常滑市観光協会の常滑支部が指定管理者となり、予約なし、少人数での陶芸教室も可能となり、陶芸教室利用者は増加。 ・展示工房館の1階で、やきもの散歩道で撮影した「映画 20世紀少年」の写真展を開催し、若年層の増加に貢献。			

4. 事業の必要性

必要性	チェック数	法定等の実施義務がある	緊急度が高い	類似(代替)事業が存在しない
	3	実施目的が未達成である	レ 政策・施策の中で優先度が高い	レ 受益者が多く市民ニーズが高い
		レ 市以外では実施不可能である	継続しなければ効果が表れない	市長の公約に掲げている
	廃止・凍結・休止・先送りした場合の影響	・やきもの散歩道の折り返し地点の休憩施設として重要な役割を担っており、施設が閉鎖された場合、観光客の大幅な減少が考えられる。 ・地元住民の憩いの場、廃工場の店舗にトイレがない場合があり、周辺の住民や店舗経営者にとって大切な施設。		
	想定される代替事業	○ なし		-
	市既存事業の活用	市(担当課)		
		既存の事業		
	民間事業の活用	想定事業主体		
		代替事業		

5. 事業の自己評価(今後の方向性・課題など)

<ul style="list-style-type: none"> ・本施設は、角窯や煙突の保存、陶芸体験、観光案内、トイレ・休憩施設など、多様な魅力や機能を持った公共施設。 ・トイレの数が観光客の増加とともに、不足気味。 ・来訪者だけでなく、地域住民にとっても大切な施設であり、多くの方々に親しまれる施設になるよう施設及びサービス拡充に努めていく考えである。
--